

新町自治会

会 長:田代 哲也
(たしろ てつや)

世帯数:227 世帯(令和 4 年7月時点)

寒川駅周辺の、生活に便利な地域
です！



<新町自治会の紹介>

新町自治会は、昭和26年に発足した寒川駅を中心に北口・南口の両側を、横長に広がる地域で運営する自治会です。

寒川駅やバスターミナルなどの交通機関の拠点があることから、駅前を中心に住居と商業施設が共存しています。

北口側は駅前の県道に沿って、寒川第二跨道橋手前から岡田の交差点周辺まであり、南口側は中瀬の信号付近から同じく寒川第二跨道橋手前の地域までと、相模線の線路を挟んで両側の広範囲にわたります。



当自治会は、23の班と4役の組織で構成されており、情報伝達及び自治会活動など重要な役割を果たしつつ、駅周辺という土地柄から、景観保護にも配慮しています。寒川町を故郷と想う会員も多く、自治会活動を通じて寒川町の歴史を語り継ぐことも重要な役割の1つとして捉えています。

また、山の日にはさむかわ夏祭りが開催され、寒川駅前広場で開催しているイベントを目にした方もいらっしゃると思います。このイベントは、岡田西自治会の方々と新町自治会が主催し、寒川町や寒川町観光協会を始め、寒川駅北口商店会・寒川町商工会の方々の後援のもと開催しており、自治会活動として自慢したい活動の1つです。盆踊りなどのイベントを通して、多くの皆さんに参加いただき、地域の恒例行事として定着を図るだけでなく、未永く町の活性化と発展に貢献することを目指しています。お囃子や祭りの音楽が聞こえてきたら、ぜひ足を運んでくださいね！

そして、活動拠点となっている自治会館も寒川駅前の県道沿いに面しており、自治会活動だけではなく、新生会と称したミニサロンを毎月開催しており、卓球やストレッチ体操を行うことや、同好会活動では民謡や踊りなどを行っており、会員同士のコミュニケーションの場として、様々なサークル活動に活用されています。

この自治会館は、平成27年に念願叶って落成に至ったものです。計画から実行までの数年間は、当時の役員の方々の努力と会員の協力があってこそその集大成、交付金以外の財源は、自治会会員からの寄付金で賅ったものです。

地震に強い構造を採用し、停電時の非常電源を備えていることから、自主防災拠点としての機能も果たし、バリアフリー用のスロープも設置された利便性にも優れた造りとなっています。



学区は広範囲な自治会ゆえ居住場所により変わりますが、小学校は寒川小学校・寒川南小学校となり、中学校は寒川東中学校・寒川中学校となります。

<主たる施設>
新町会館

<小学校・中学校区>
寒川小学校
南小学校
東中学校
寒川中学校